

(様式4)

令和8年3月5日

令和7年度 第3回 大阪市立港晴小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立港晴小学校

校長名 田村 亮

日時	令和8年3月4日	
場所	港晴小学校 会議室	
出席者	委員など	(港晴地域活動協議会委員長) (港晴地域主任児童委員) (港晴地域民生委員長) (築港中学校 校長) (現 PTA 会長) (現 PTA 副会長)
	校園	(校長)(教頭)
	区役所	(港区役所 協働まちづくり推進課係長)
議題	(1) 令和7年度「運営に関する計画」最終評価について (2) 令和7年度「大阪市小学校学力経年調査」結果について (3) 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果について (4) 学校の様子について (5) その他、意見交換・質疑応答	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 令和7年度「運営に関する計画」最終評価について	<p>【安全・安心な教育の推進】 いじめアンケートの定期的な実施や聞き取りによる組織的な対応など、児童一人ひとりの声を丁寧に受け止める取組が行われている点が評価された。また、全校行事や異学年交流の取組を通して、児童同士のつながりや所属感を高めていることは、安全で安心できる学校づくりにつながっているとの意見があった。今後も、児童が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを継続してほしいとの声があった。</p> <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】 授業研究や公開授業を通して教員同士が学び合いながら授業改善に取り組んでいる点や、話し合い活動を取り入れた授業づくりを進めていることが評価された。また、「大なわ記録会」や「なわとび週間」、「縦割りドッジビー大会」などの取組により、児童が楽しみながら体を動かす機会を確保していることは体力向上につながる取組であるとの意見があった。今後も、学力と体力の双方の向上に向けた取組を継続してほしいとの声を示された。</p>

		<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>児童用端末の活用が進み、「心の天気」などを活用した児童理解や ICT を活用した学習活動が広がっている点が評価された。また、教職員の働き方改革にも取り組み、教育活動の充実と業務の効率化を図っていることについても意義があるとの意見があった。今後も ICT の効果的な活用と持続可能な学校運営の両立を図りながら、教育環境のさらなる充実を期待するとの意見があった。</p>
(2)	令和7年度「大阪市小学校学力経年調査」結果について	<p>調査結果について、本年度、港晴小学校で研究教科として取り組んできた算数科では、大阪市平均を上回る、またはそれに近い標準化得点が見られ、これまでの授業改善の取組の成果が表れているとの意見があった。一方で、社会科については全学年で大阪市平均を下回る結果となっており、今後の課題として授業改善を進めていく必要があるとの指摘があった。また、質問紙調査では「勉強が分かる」と回答する児童が多く、ICT を活用した学習によって理解が深まっていると感じている児童が多いことから、学校の取組は評価できるとの意見があった。今後も ICT の効果的な活用や授業改善を継続し、児童の学力向上につなげていくことが期待されるとの意見が示された。</p>
(3)	令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果について	<p>調査結果について、女子はほとんどの種目で全国平均を上回っており、運動が好きと回答した児童が多いことが体力の結果にも表れているとの意見があった。地域の子ども会活動などを通して、休日にも運動する機会があることが体力向上につながっていると考えられる。一方、男子については全国平均を上回る種目が限られており、運動に対する意欲にも個人差が見られることから、授業において運動の楽しさを感じられる工夫を行うことや、地域の活動への参加を促すなど、運動習慣の形成につながる取組を進めていくことが望ましいとの意見があった。</p>
(4)	学校の様子	<p>卒業をお祝いする会では、全児童が6年生に関わりながら温かく送り出す姿が見られ、学年間のつながりが強く、児童同士の仲の良さが学校の大きな魅力であるとの意見があった。また、日頃から落ち着いた学校生活を送られており、児童が安心して過ごすことができる雰囲気を感じられるとの声もあった。今後も、学年を越えた交流や全校での取組を大切にしながら、児童一人ひとりが安心して楽しく学校生活を送ることができる学校づくりを進めてほしいとの意見があった。</p>

協議資料	○令和7年度「運営に関する計画・自己評価(最終)」 ○令和7年度「大阪市小学校学力経年調査」結果について ○令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果
備考	傍聴者0名